

<報道発表資料>

.....
カテゴリー：お知らせ

令和7年5月23日

サクラの外來害虫クビアカによる被害拡大 ～8市町で初確認、被害は931か所に増加～

環境科学国際センターでは、サクラを枯らす外來害虫“クビアカツヤカミキリ”からサクラを守るため、平成30年度から、「クビアカツヤカミキリ発見大調査」を実施しています。

このたび、令和6年度の調査結果がまとまり、昨年度と比較して、被害発生市町村数は36市町から44市町村に、被害箇所数は832か所から931か所に増加し、被害が拡大していることが明らかになりました。

県では、被害拡大防止のため、引き続き被害実態を把握し、早期防除の取組を推進していきます。県民の皆様には、情報の提供についてより一層の御協力を改めてお願いします。

●「クビアカツヤカミキリ発見大調査2024」の結果概要

44市町村の931か所で被害(成虫のみの確認を含む)が確認されました(表1)。

令和5年度と比較して、令和6年度の被害発生市町村数は36市町から44市町村に、被害箇所数は832か所から931か所に約12%増加し、被害地域は拡大しています(表1及び図1)。令和6年度に新たに被害報告があった自治体は、さいたま市、川口市、上尾市、入間市、坂戸市、ときがわ町、杉戸町及び松伏町の5市3町でした。

被害拡大を防止するためには、被害地域での防除を継続するとともに、周辺地域へ飛翔して拡散する個体の防除対策が必要です。

表1 被害発生市町村と被害箇所数

市町村	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
熊谷市	45	69	106	130	167	153	124
行田市	30	46	99	68	53	60	79
加須市	2	5	18	12	78	30	223
羽生市	10	16	66	69	47	29	10
深谷市	11	7	57	10	10	55	26
草加市	23	44	48	69	83	90	10
越谷市	4	4	5	7	15	16	31
八潮市	3	6	8	14	16	22	16
鴻巣市	—	3	14	15	4	54	70
三郷市	—	1	2	7	6	9	17
吉川市	—	3	2	2	14	12	8
寄居町	—	2	2	10	22	14	10
本庄市	—	—	1	5	35	97	44
久喜市	—	—	1	4	2	28	16
幸手市	—	—	1*	3	1	2	8
上里町	—	—	1	—	—	7	1
東松山市	—	—	—	9	11	24	35
吉見町	—	—	—	4	—	12	16
美里町	—	—	—	6	4	3	12
滑川町	—	—	—	—	1*	37	7
小川町	—	—	—	—	4	10	7
長瀨町	—	—	—	—	19	8	5
東秩父村	—	—	—	—	5	—	1
神川町	—	—	—	—	1*	3	4
川越市	—	—	—	—	—	1*	9
秩父市	—	—	—	—	—	1*	3
春日部市	—	—	—	—	—	1	2
桶川市	—	—	—	—	—	2	13
北本市	—	—	—	—	—	12	40
蓮田市	—	—	—	—	—	3	2
白岡市	—	—	—	—	—	3	1
伊奈町	—	—	—	—	—	3	—
越生町	—	—	—	—	—	4	24
嵐山町	—	—	—	—	—	20	4
川島町	—	—	—	—	—	1	13
鳩山町	—	—	—	—	—	4	4
宮代町	—	—	—	—	—	2	1
さいたま市	—	—	—	—	—	—	3
川口市	—	—	—	—	—	—	2*
上尾市	—	—	—	—	—	—	5
入間市	—	—	—	—	—	—	1
坂戸市	—	—	—	—	—	—	15
ときがわ町	—	—	—	—	—	—	1*
杉戸町	—	—	—	—	—	—	6
松伏町	—	—	—	—	—	—	2
被害発生市町村数計	8	12	16	18	22	36	44
被害箇所数計	128	206	431	444	598	832	931

*、成虫のみの確認

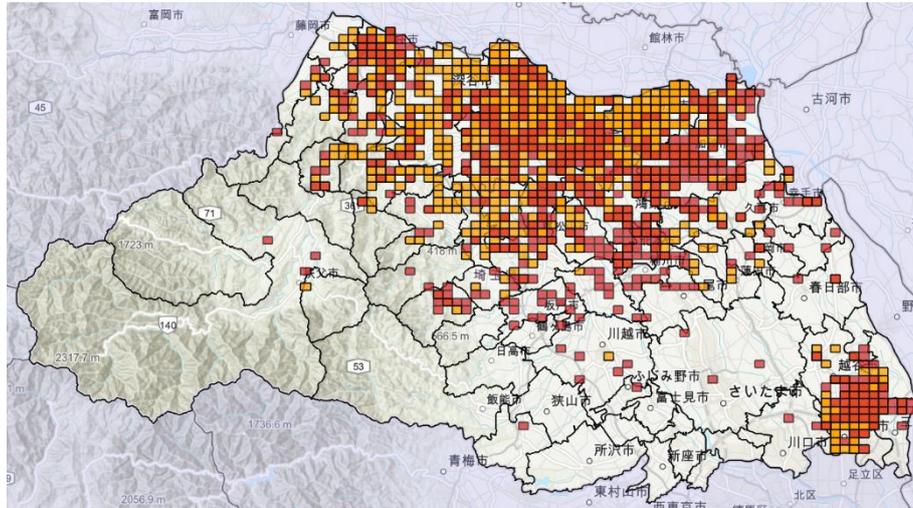


図1 令和6年度までのクビアカツヤカミキリによる被害地域

色付きのメッシュは、被害(成虫のみの確認を含む)が発生した地点を含むメッシュ(1km×1km)
 オレンジのメッシュは令和5年度以前に被害が発生した地点を含むメッシュ
 赤のメッシュは令和6年度に被害が発生した地点を含むメッシュ

●調査方法

クビアカツヤカミキリの成虫が発生し、被害も多くなる6月から、県内の公園や川岸、学校などに植えられたサクラを対象に、クビアカツヤカミキリの成虫(参考写真1)の発生やフラス(木くずとフンが混ざったもの、参考写真2)の排出状況など被害の有無をスマートフォンや電子メールなどで環境科学国際センターに報告していただきました。被害がない旨の報告を含め 48 市町村、1,287 か所から報告をいただきました。



参考写真1
クビアカツヤカミキリ(オス)



参考写真2
サクラの根元に堆積したフラス

● 今後のクビアカツヤカミキリ対策

- 1) 効果的な防除対策を進めるため、県民参加による「クビアカツヤカミキリ発見大調査」を継続し、市町村とともに、県内全域における被害状況の把握に努めます。
- 2) 対策技術の普及啓発を図るため、被害防止に関する研修会や出前講座を積極的に開催します。

<参考>

● クビアカツヤカミキリについて

- * 平成 30 年1月に、特定外来生物に指定された。
- * 自然分布は、中国、モンゴル、朝鮮半島、ベトナムなど。
- * 幼虫は、サクラなどのバラ科樹木の生木を食べ、木の内部で2～3年かけて成長し、蛹(さなぎ)になる。
- * 幼虫の活動期は春から秋で、この間にフラスを排出する。
- * 蛹は6月から8月に成虫となり、樹体の成虫脱出孔から樹体外に出る。
- * メスの成虫は木の樹皮の割れ目に産卵し、卵を 1,000 個近く産むこともある。
- * 成虫の寿命は、野外では1か月程度で、成虫で越冬はしない。

● 「クビアカツヤカミキリ情報」サイト

クビアカツヤカミキリに関する基礎的な情報や資料用画像の他、県内の被害発生地域に関する情報(クビアカツヤカミキリ調査地点マップ)や被害防止の手引を公開しています。

URL: <https://www.pref.saitama.lg.jp/cess/center/kubiaka.html>

